NEWS RELEASE

2019 年 2 月 22 日
株式会社マーキュリアインベストメント

伊藤忠商事及び MQDC が手掛けるタイ・バンコク不動産開発プロジェクトへの参画のお知らせ

-タイ・バンコク不動産開発へのメザニン投資第二弾-

この度、株式会社マーキュリアインベストメント（以下「当社」といいます。）は、タイ国最大の財閥企業である CP グループの長年にわたる事業パートナーである Magnolia Quality Development Corporation Limited（以下「MQDC」といいます。）及び、当社の戦略株主である伊藤忠商事株式会社（以下「伊藤忠商事」といいます。）と、タイ・バンコクにおける不動産開発事業へのメザニン投資に関する合弁契約を締結したことをお知らせいたします。

今回の投資対象プロジェクト（以下「当プロジェクト」といいます。）は、バンコク中心部の商業施設とコンドミニアムからなる複合施設で、MQDC の子会社且つプロジェクトカンパニーである Whizdom Quality Development Corporation Company Limited（以下「当プロジェクトカンパニー」といいます。）を通じて開発されます。当社は当社が指定する法人にて当プロジェクトカンパニーの優先株譲渡を受けることで、当プロジェクトに参画する予定です。ローカルデベロッパーである MQDC は、CP グループの事業パートナーであることに加え、近年ランドマーク性の高い大型プロジェクトを連続して手掛けており、タイ国内外でブランド価値を急速に高めております。また、CP グループの戦略資本業務提携先である伊藤忠商事も当プロジェクトに参画し、MQDC の共同事業者として、日本で培ったマンション開発の知見とノウハウを活かしながら強力に当プロジェクトを支援・推進いたします。

当プロジェクトは 2017 年に投資した Origin Property 社とのプロジェクトに次ぐ、タイ・バンコク不動産開発へのメザニン投資第二弾となり、合計の投資対象は約 1,250 戸に上ります。

バンコクのコンドミニアムマーケットは、都市化（Urbanization）の進行、それに伴うライフスタイルの変化及び中間層の所得上昇等により、長期的に安定した住宅需要が見込まれています。その一方で、タイ国内の不動産開発へのファイナンスマーケットは不動産デベロッパーの資金需要に追い付いておらず、国内企業の旺盛な資金需要に引き付けられる形で、近年多くの日系デベロッパーがタイ・バンコク不動産マーケットに進出しています。

株式会社マーキュリア インベストメント
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-3-3 内幸町ダイビル 6F tel.03-3500-9870 fax.03-3500-9881

当社は、上記の通りマーケットの長期的な成長力、資金の需給ギャップ並びに経済変動の中でもリスクを限定した中で安定したリターンを見込めるメザニン投資に着目し、当プロジェクトに参画する運びとなりました。今後も、日本の投資家や不動産事業会社と共に、タイの都市開発案件にメザニン投資をコーディネートし、日タイ間の不動産事業連携を促進する機会とし、実需に裏付けられた資金需要のある東南アジア諸国におけるメザニン投資機会に注目して参ります。

なお、本投資が当社の 2019 年 12 月期連結業績に与える影響は軽微でありますが、今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

【MQDC の概要】

会社　　：Magnolia Quality Development Corporation Limited
代表者　　：Thippaporn Ahriyavraromp
所在地　　：695 Soi Sukumvit 50, Sukumvit Rd. Phrakanong,Klong Toey, Bangkok 10260
Website　　：https://mqdc.com/

【当プロジェクト完成イメージ図】



株式会社マーキュリア インベストメント
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-3-3 内幸町ダイビル 6F　tel.03-3500-9870 fax.03-3500-9881

【サイニングセレモニー写真】



以上

私たちは、既存の枠組みや国境を越える「クロスボーダー」をコンセプトに投資を行っています。

※本リリースに関するお問い合わせ先：
株式会社マーキュリアインベストメント
営業 IR 部
Tel：03-3500-9870
Mail：info@mercuria.jp
HP: http://mercuria.jp/